



2019-20 年度地区方針「グローバルに考え 地域社会とつながり ロータリーを成長させよう」

本日 第2348回 2019年9月28日(土) No. 2231

本日のプログラム Today's Program

担当者:親睦活動委員会

点 鐘 18:00

月見例会 於「ふく運」

前回 第2347回 2019年9月20日(金) 記 録

- 斉 唱:「我等の生業」
- 出席者:会員 24 名中 22 名出席 出席率 91.66%
- 来訪者:尾張旭市立旭中学校 校長 松本 浩一様
教頭 寺尾 博哉様

会長あいさつ 加藤 清久



皆さんこんにちは。先月は、ロータリーのことについてお話しましたが、今月は経済のことについてお話します。最近の世の中、貧富の差が大きくなってきました、何故でしょう。その一原因は、コンピュータ社会の到来にあると思います。

私が創業し3人で事務機屋を経営していた1973年頃の話です。中税務署がきて1年間税務調査を受けました。調査しても何もなく、ほんの見解の相違で終わったのですが、なぜ、たった3人の会社へ1年間も調査にきたのでしょうか。小さな事務機屋で、利益はあがらないと考えていたものが、飛び抜けて利益が上がったものですから、きっと脱税行為があったと判断したのでしょう。

それもそのはずです。私は、当時、電卓から進歩したプログラム式電子計算機でソフトウェアなるものを開発し、ソフトに価格をつけ機械とともに販売していたからです。

三菱時代に習った電子計算機のプログラミングをその機械に応用したのですが、当時の時代では、ソフトがお金になるという認識はなかったのです。

また、一旦開発したソフトは、コピーすれば、ほん少しの費用でいくらでも生産することが出来、売

れば売れば利益が上がる仕組みになっていたのです。自動車やその他の生産財では、ひとつひとつ作るのにそれ相当のコストがかかりますが、ソフトという怪物は、いくらでも殆どコスト無しで出来るのです。全部がそうではないにしても、現在、IT、コンピュータ企業が儲かっている理由は、ここらにあると云っても過言ではありません。特に、パソコンの時代、インターネットの世界、スマホの世界と時代が進化すればするほど、顕著になり、儲ける人と儲けない人が仕分けされ貧富の差が拡大します。

さらには、IT、コンピュータ等は、時間、距離等の概念が無く、さらに加速されることでしょう。

現在、マイクロソフトをはじめ数社のGDP合計がドイツ一国に匹敵、さらに、AIの人口頭脳の段階までくると、この先どこまで行くのか見当が付きません。資本主義経済体制では、競争は自由であり、収入-費用の引き算で儲ける人を止めることは出来ません。長い経済の歴史を踏まえて、現在のところ、この資本主義が一番良いシステムであると世界が認めているからです。残念ながら、この儲ける資本主義体制を左とすれば、どう分配するかの右の方策は見つかっていません。

過去、一例として戦争という手段がありましたが、近代社会ではこんなことはできません。

ビルゲイツやその他著名な人々が資産を財団に回し右の使い方を模索し、国連やRIもこれに同調しようとしています。残念ながら左に対抗出来るほどのものはありません。まだまだ、これが続いてゆくでしょう。しかし、我々は、そうは云っても生活を続けねばなりません、来週、対案を提案したいと思っていますのでよろしく。

経済と地域社会発展

	10月4日(金)	10月12日(土)	10月18日(金)	10月25日(金)
例会予定	卓話担当者:山田 直樹君 卓話者: 〃 演 題:「雑話」	(11日振替分) 苗木配布 WFF例会 担当者:社会奉仕委員会 於:カワトあさひ	セミナー例会 卓話担当者:プログラム委員会 卓話者:産後指導士 田中 祐子様 演題:「産後10年でも間に合うお家でできる骨盤ケア」	卓話担当者:プログラム委員会 卓話者:地区研修委員 古田 嘉且君 (江南RC) 演題:「ロータリー雑感 -新会員研修に因んで-

幹事報告

次回の例会：9/28(土)※9/27(金)振替分 月見例会
受付：17：30 点鐘 18：00

ニコボックス

- 谷口さんの初めての卓話、楽しみにしています。
加藤 清久君、舟橋 龍秀君、飯田 幸雄君
金森 俊輔君、菊田 利昭君、桜井 雅博君
中森 正裕君、古橋エツ子君、松永 洋子君
森 康美君、森井 晴生君
- つたない卓話ですが、どうぞよろしくお願い致します。
谷口 亜弥君
- しばらく例会を欠席致しまして。飯田 幸雄君
- 旭中学校松本校長先生、寺尾教頭先生、ようこそいらっしゃいました。
金森 俊輔君
- 当クラブゴルフコンペ、本年度最高のスコアができました。昨日、もっと欲張ったがいつものスコアでした。
加藤 清久君
- 45年ぶりの北海道。訪問地によってははいまひとつ。くたびれました。
古橋 裕志君
- 西尾先生、昨日はありがとうございました。
菊田 利昭君
- 9月16日の親睦ゴルフコンペで良い思いをさせていただきました。ありがとうございます。
山田 直樹君
- 支払日のため、早退します。
江尻 豪君

尾張旭市立旭中学校野球部協賛

尾張旭市立旭中学校野球部へ全国中学校体育大会出場に対し、尾張旭 RC が協賛を致しました。



尾張旭市立旭中学校 校長 松本 浩一様(右)
尾張旭市立旭中学校 教頭 寺尾 博哉様

卓話

「自己紹介」



谷口 亜弥

皆さま、こんにちは。6月より尾張旭ロータリークラブに入会させて頂きました谷口亜弥と申します。

私は、生まれも育ちも尾張旭市です。市内の小・中・高校を卒業後、1つの大学、2つの短大、1つの専門学校で栄養学、日本画、幼児教育学、モンテッソーリ、リトミックの幼児情操教育をそれぞれに学び、気付けば28歳まで学生をしておりました。長い学生時代にその他色々な稽古に通って資格を得たり、様々なアルバイトを経験しました。20代に飲食店、パン屋を開業し成功と失敗の両方の経験もさせていただきました。

現在、瀬戸市に住居を構え、会社員の夫と小学三年生の息子、猫2匹と暮らしております。アウトドアが家族共通の趣味です。大型猫が2匹で、一人っ子の息子にとっては良き遊び相手、まるで兄弟のようです。

私の職業は、私立認可保育所に勤務しております。現在、父親が理事長、母親が園長を務め、来年引退を考える父親の後継として只今準備を進めているところです。当所は0歳児～2歳児専門の定員40名の保育所です。2年前より、子ども一人一人に担当保育士を付け、その子の成長に合わせ養護と教育を進める「担当制保育」を導入し、家庭にできるだけ近い生活を心掛けた保育を行なっております。

昨今は人工知能などAI技術の発展で何においても効率化を図る世の中の流れですが、保育に関しては全く真逆です。子どもたちに対し「手をかけ・目をかけ・暇をかけ」と、ゆっくりゆっくり一つずつ丁寧に成長を見守り、「一人ひとり」を大切に心と身体を育てております。今年から当所では「給食レボリューション」と題し、給食の見直し立て直しに取り組んでおります。「食べることは生きること」、乳幼児期の大切な3年間「からだにやさしい、細胞が喜ぶごはん」を提供したいという思いで改革を起しました。まずは、調味料の見直しと買い替えを致しました。遺伝子組み換えや化学調味料商品から、からだに優しい取り組みをしているアイチョイスさんの無添加調味料を購入したり、地元の有機野菜、減農薬米を好んで購入しております。また、できるだけ種のある野菜を食べてもらいたいと、自然農で作られた野菜を見つけると購入しております。やはり毎年種を撒かないと芽が出ない遺伝子組み換え野菜は人間の体にも影響を与えております。毎年毎年自然と芽が出る種のある野菜は、子どもたちに力強い栄養を与えてくれます。「安心給食日本一！」を目指し、まだはじめばかりの取り組みですが、こどもの心と身体のことを考えた給食を出す保育所として、一つの見本になれるよう引き続き努めたいと思います。

本業とは別に、様々な取り組みをさせて頂いております。その中の一つに、子育て支援事業として「アトリズミックス」という名で、造形とアート、音楽を媒体にした情操教育活動を行なっております。今年で4年目を迎え、毎月1回、地域の親子を対象に季節のアートや歌を楽しんだり、ヨガやリトミックで体を動かしたり、さらには親御さんのお悩み相談の座談会を行なったりしております。

稼業を継ぐと決める直前まで、私は「こそだてしえんかふえ picknick」という子育て支援を取り入れた親子で楽しめるカフェを考案し、経営しておりました。毎日朝夕、ママまたは子どもが楽しめるお稽古事を開催し、ランチタイムには保育士が常駐。真ん中に常設したキッズスペースで子どもたちは保育士と遊び、親はそれを見守りながら食事ができる、という自分自身の「あったらいいな」をそのまま形にした店です。オープン2ヵ月程で毎日満員御礼の予約の取れないお店へとなり、それだけ、世の中のお母さんは「集い」を求めているのだと実感しました。このノウハウや経験を、今後も世の中の子育て中のお母さんを助ける社会奉仕事業として発展させていきたいと考えております。ロータリークラブの素晴らしい先輩方に、今後沢山のご指導を頂ければと願います。つたない卓話でしたが、最後までご清聴ありがとうございました。